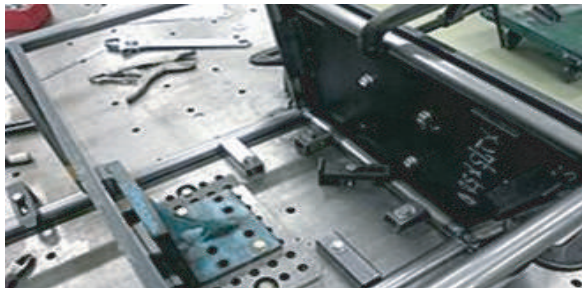


# 9. 「現場力をもっと高めるための治具設計」

本講座では、間違った治具設計をしないよう、治具設計の基礎を解りやすく解説するとともに、簡単な計算式で設計計算できるよう、その手法を解説します。また、治具設計における「陥りやすい過ち」と、「治具設計の勘所」などについて例示し、基礎知識を深めていただきます。治具設計技術者としてベテランの技術者と同様にQ・C・D(品質・コスト・納期)を重視した設計が可能になります。また、講座の中で企業の治具に関する悩み事項についてケースワークとして議論し、解決策のヒントを見出すとともに、治具設計に関する理解を深めます。



主 催：一般財団法人地域産学官連携ものづくり研究機構  
 参 加 費：MRO 賛助会員 6,000 円（一般：8,000 円）  
 会 場：テクノプラザおおた研修室 太田市本町 29-1 Tel:0276-50-2100 Fax:0276-50-2110  
 募集人員：15名程度。なお、応募人数が少数の場合は研修を中止することがあります。ご了承ください。

日 程 (2日間コース)

研修内容

|               |   |
|---------------|---|
| 7/16(木)       | 1. 商品化における治具設計のポジション  |
| 7/17(金)       | 2. 治具設計技術者の基礎知識   |
| 10:00 ~ 16:00 | (1) 位置決めと自由度 (基準定め的基本的方法)<br>(2) 平面と穴で基準定めする場合の計算<br>(3) 治具を用いて加工した場合に起こる誤差の概念<br>(4) 治具の取付要素の構造<br>(5) 締付機構の構造                       |
|               | 3. 治具設計の勘所  |
|               | (1) 治具設計のアイデア (例または応用例、事例)<br>(2) 治具設計の勘所<br>a. 治具部品は作るより買うほうが安い<br>b. ひとつでも多くのメカを頭に入れよ<br>c. 方法は一つではない (最適な方法、具体策)<br>d. 陥りやすい過ちと対処法 |
|               | 4. 素材加工要素の種類概要と各種加工法案   |
|               | 5. 企業の困りごとに関して、改善策の討議   |

\* 講師プロフィール

酒庭秀康 (MROコーディネーター) 新潟大学大学院 (工学研究科機械工学専攻) 修了  
 経歴：三洋電機(株)コンプレッサ事業部 技術開発、生産技術、(株)ぐんま産業高度化センター 技術相談、機械工学全般ほかに著作「現場で役立つモノづくりのための治具設計」(日刊工業新聞社刊)、斎藤勝政、渡邊強 共著「ベテラン技術者が教える機械加工現場ノウハウ 100 選」(日刊工業新聞社刊)  
 竹内光男 (MROコーディネーター、群馬県能力開発協会 人材育成コーディネーター) 群馬大学 (機械工学科) 卒  
 経歴：マックス(株)生産技術、品質保証、生産工程～実用化の仕組み作り、企業内小集団活動と組織活性化

受講料について

- 受講申込時に請求させていただきます。支払いは、銀行振込とさせていただきます。MRO スキルアップ研修は、地域の中小企業のみなさまの便宜を図り、材料費、資料代、交通費などを勘案した最低限の受講料を設定しています。大変恐縮ながら、振込手数料につきましては、受講者様にご負担をお願いします。
- キャンセル料：開催日 1 週間までは受講料全額を返還します。1 週間以内の場合は全額を頂戴します。キャンセルの連絡は、必ずメール・FAX など記録の残る手段でお願いします。注) 1 週間：MRO (当財団) の 6 勤務日前 17 時までとします。

● 問い合わせ申し込み先：一般財団法人地域産学官連携ものづくり研究機構  
 tel : 0276-50-2100、fax : 0276-50-2110、E-Mail : kenshu@mro.or.jp

## 9. 「現場力をもっと高めるための治具設計」受講申込書

|              |      |        |
|--------------|------|--------|
| ご芳名 (ふりがな) : | 所属   | 役職     |
| ご芳名 (ふりがな) : | 所属   | 役職     |
| 会社名          | 住所 〒 |        |
| TEL          | FAX  | E-Mail |